



連携6大学
地域に生き未来に繋ぐ高度がん医療人の養成
文部科学省【次世代のがんプロフェッショナル養成プラン】採択事業



京都府立医科大学大学院保健看護学研究科
高度実践がん看護専門看護師コース
令和5年度研修会

がん性疼痛のアセスメント

～ペインマネジメントにおける看護師の役割～

日時 令和6年2月28日[水] 17:30～19:00

方法 Web開催 (Zoom)

対象 大学院生、医療従事者、教職員の皆様

参加費
無料

プログラム

17:30
～
17:35

開会挨拶 京都府立医科大学大学院保健看護学研究科
がん看護専門看護師コース責任者 教授 吉岡 さおり

17:35
～
18:55

講演 京都府立医科大学大学院保健看護学研究科
がん看護専門看護師コース
准教授 林 容子 (がん性疼痛看護認定看護師)

質疑応答含む

多くのがん患者は、がんによる痛みや治療などによる痛みを苦しんでいます。がん患者の痛みを解放するため、世界保健機関 (WHO) は1986年に「三段階除痛ラダー」(がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン2020年版より本文から削除) を発表し、そのがん疼痛治療法は世界中に普及しました。しかし、がん患者の3分の1以上は、自分の痛みを中等度または重度と評価しており、世界的にも日本においてもペインマネジメントは依然として問題となっています。看護師は、患者の最も近くにいる医療者であることから、ペインマネジメントにおいても重要な役割を持っています。がん患者が一刻も早く痛みから解放されるように、がん性疼痛のアセスメント方法およびペインマネジメントにおける看護師の役割について考える機会にしたいと思っています。

18:55～19:00

閉会挨拶 教授 吉岡 さおり

申込方法



QRコードまたはURLから登録フォームにアクセスし、必要事項 (氏名・所属・メールアドレス) をご記載の上、令和6年2月21日(水) までにお申し込みください。

ご登録後、アクセス先URL等をご連絡させていただきます。

登録フォーム

<https://forms.gle/GNMJQBuz4HhTfgx48>

